

事務事業実績測定調査

事務事業名称	一般廃棄物最終処分場管理業務										
測定年度	2021(R3)年度		当初	部	環境部			課	東部資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理		特性			内部事務			区分		一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度			年度	~				年度まで		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		一般廃棄物最終処分場への埋立事業は終了しているが、法律で定める廃止基準を満たすまで、浸出水の処理、ガス測定等を行う必要があるため、その業務に従事する職員								
	サブターゲット		最終処分地の土地を利用する市民								
	ターゲットが抱える課題		現状で法律の廃止基準を満たす状態になるには長期間(数十年)必要であり、その間の管理及び土地の利用に制限がかかる。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	法律に定める処分場の廃止基準を満たし、最終処分場としての管理の終了及び土地の活用の幅が広がる。										
事業概要	枚方市一般廃棄物最終処分場は平成14年4月に埋立が終了しているが、法律で定める廃止基準の適合を確認できるまで、必要とされる分析測定を実施。埋立地周辺地域への影響を定期的に維持管理をしながら、平成26年10月から多目的広場として暫定利用を開始した。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
							枚方市一般廃棄物最終処分場の適切な維持管理が出来る。				枚方市一般廃棄物最終処分場の維持管理に係る委託及び自主管理を実施する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
	指標説明					事故等発生数				進出水搬送及び維持管理に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】						
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標						
	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
	0		0		0		0		100以内		100以内		100以内		100以内	
達成度					100%				101%							
分析					法律で定める水質検査等の回数、結果を満たし、年間を通じて良好な維持管理が継続できている。				決算額5,280,000円/予算金額5,362,000円							

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.84
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,870	4,705	6,600		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,870	4,705	6,600		
	物件費計	9,465	10,032	7,237	7,925	91%
	歳出計	13,335	14,737	13,837		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	13,335	10,032	7,237	7,925	

5. 総括的分析

最終処分場の浸出水搬送委託について、令和3年度は冬場の少降雨期・雑草の低成長期についての搬送及び除草実施回数を見直し、回数の削減を行ったため、委託費総額の削減に繋がった。また、除草機械の買い替えを行った。なお、普通財産に変更し、売却を行った元第二最終処分場予定地の測量準備のための除草作業を行う必要があり、作業量が増加したため、人員体制を強化して対応しました。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	廃棄物の処理と清掃に関する法律に定める最終処分場の廃止基準の適合をできるまで、必要とされる水質分析、浸出水搬送、表面管理を継続します。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													東部清掃工場見学等環境啓発事業												
測定年度			2021(R3)年度				当初		部		環境部				課		東部資源循環センター								
市長公約との関係			所信表明				市政運営方針		R2		R3		R4												
総合計画体系			基本目標				5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち																		
			施策目標				25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち																		
			実行計画名																						
1. 事務事業の概要																									
種類			市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業								
事業期間			2008(H20)年度				年度		~						年度まで										
根拠法令等			廃棄物の処理及び清掃に関する法律																						
関係補助金名称													サンセット												
関係附属機関名称																									
事業対象			メインターゲット				東部清掃工場の訪問予約をする市民、およびその予約に関連する市民(市内・市外問わず)																		
			サブターゲット				環境フェスタ氷室ふれあいの里の駅で東部清掃工場を訪れる市民 見学対応する職員																		
			ターゲットが抱える課題				工場見学等の対応が困難になった場合、市民が減量及び環境保全の活動に関心を持つ機会がない。																		
			ターゲットが抱える課題																						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)			啓発活動を通じて、市民に4Rの取組等を理解していただくとともに、減量及び環境保全の活動に関心を持って頂いている状態。																						
事業概要			ごみの適正な分別や資源の有効活用に関する啓発活動の一環として、随時、東部清掃工場内を事前予約制により、約2時間の施設見学コースにより、見学を行っている。小学校では、4年生の社会科でごみ処理等について学んでおり、市内小学校や他市からも小学生を受け入れて見学を行っている。 また、秋季には、「環境フェスタ 氷室ふれあいの里の駅」のイベントを実施し、より多くの市民にごみ処理について、理解を深めていく場とする。																						
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)														
			啓発活動を通じて、市民に4Rの取組等を理解していただくとともに、減量及び環境保全の活動に関心を持って頂いている。				市民が、減量及び環境保全に関して触れる機会が増える。				東部清掃工場見学等、減量及び環境保全に関連する啓発活動を実施する。														
指標設定			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)														
			イベントアンケートで減量及び環境保全の活動に関心を持ったと答えた割合(実施した場合の目標値) 【算出式:減量及び環境保全の活動に関心を持ったと答えた人数/アンケート回収者数×100】				東部清掃工場見学等イベント参加人数				東部清掃工場見学等イベントの開催回数														
			指標種類		単位		%		単位		人		単位		回										
			R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5								
			70		70		70		70		300		300		300		300								
			0		0						0		0												
			達成度		0%				0%				0%												
			分析			新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントが2年連続で中止となったため、達成度は0%とする。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントが2年連続で中止となったため、達成度は0%とする。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントが2年連続で中止となったため、達成度は0%とする。											

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.16
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,266	7,746	8,848		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,266	7,746	8,848		
	物件費計	117	0	0	1	—
	歳出計	7,383	7,746	8,848		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	7,383	0	0	1	

5. 総括的分析

総括的分析 清掃工場見学による環境啓発及び、地元交流・京田辺市民交流を目的に実施している「環境フェスタ 氷室ふれあい里の駅」イベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、施設見学者数についても緊急事態宣言中については自粛し、まん延防止対策期間中は感染対策・人数制限を行い、見学内容も改善し、穂谷川清掃工場からの人的応援を得て実施し、困難な状況においても啓発活動を継続した。また、施設見学の自治体調査・イベントの新企画の立ち上げ・見学内容の更新等を行うなど、新たな取り組みを行った。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	イベントの新企画(子ども服 おもちゃ交換会)・施設見学予約方法の拡充・アンケート回収方法の改善等、新たな啓発活動を拡充中である。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部清掃工場施設維持管理業務										
測定年度	2021 (R3) 年度		当初	部	環境部			課	東部資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理		特性		内部事務			区分		一般内部管理事務	
事業期間	2008 (H20) 年度			年度	~			年度まで			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法										
関係補助金名称								サンセット			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		ごみを排出する市民及び事業者								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		施設機能が適切に維持・保全出来なくなった場合、ごみの円滑な処理が難しくなる。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安定したごみ処理施設の運転										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設【焼却炉 120t/日×2炉 ・ 溶融炉 24t/日×2炉(交互運転)】および破碎処理施設【39t/5h】の各施設において、定期補修工事(年2回 前期・後期)の実施 ・各種機器・設備(燃焼設備・燃焼ガス冷却設備・排ガス処理設備・余热利用設備・溶融設備・排水処理設備、破碎処理設備・選別設備・集じん設備、電気設備)等の保守点検及び清掃・警備業務の実施 										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						東部清掃工場が適正に維持管理されている。				東部清掃工場の施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標説明						修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				保守点検等の回数			
指標種類		単位				単位 %				単位 回			
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	4	4	4	4
実績						99.64	92.42			4	4		
達成度						108%				100%			
分析						決算額567,887,049円/予算額614,430,000円				定期補修点検を計画どおり実施しました。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	3.04
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,953	23,227	23,354		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	20,953	23,227	23,354		
	物件費計	792,881	968,762	599,471	651,532	92%
	歳出計	813,834	991,989	622,825		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	300,000	0	700,000	
	歳入計	0	300,000	0	700,000	
	一般財源	813,834	668,762	599,471	▲ 48,468	

5. 総括的分析

総括的分析	修繕料・工事に係る予算作成と決算については想定どおり進んでおり、定期補修工事も焼却処理施設2回と破砕処理施設2回の合計4回、適切に実施できました。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	ごみ処理に関する公害関係法、廃棄物関係法令に定める基準を遵守し、一般ごみ及び粗大ごみを適正に処理し、発生する残渣物を適正に処理する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部清掃工場施設運営業務						
測定年度	2021(R3)年度	当初	部	環境部		課	東部資源循環センター
市長公約との関係	所信表明	市政運営方針	R2	R3	R4		
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち					
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち					
	実行計画名						

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2008(H20)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	東部清掃工場のごみ処理により、環境に影響を受ける市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	処理するごみ質の変化や施設の劣化により、排ガス等の処理が不安定になることがある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	不適切なごみの搬入防止や、施設の適切な管理で安定したごみ処理を行う。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス等の分析の実施 ・焼却炉120t/日×2炉、溶融炉24t/日×2炉(交互運転)により市域内の焼却ごみ(家庭系一般ごみ及び事業系一般廃棄物)約6割を適正に処理し、焼却残渣については、広域廃棄物埋立場(大阪湾フェニックス)へ搬出・処分を行う。 ・余熱利用として、発電能力4,500kWhの蒸気タービン発電機により発電を行い余剰電力は売却する。 ・粗大ごみ処理39t/日により市域内の粗大ごみを適正に処理し、処理工程で選別した金属類については、資源化を図る。また、処理工程で発生する不燃残渣については、広域廃棄物埋立場(大阪湾フェニックス)へ搬出・処分を行う。 ・溶融飛灰については、金属有価資源の有効利用に努める。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	各分析結果が、自主基準を下回っている。				インプット (活動)	法令等に基づいて排ガス等の分析を実施する。								
	指標説明					アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明					アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	指標種類					単位					単位					単位				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
	目標(見込み)					0	0	0	0	12	12	12	12	12	12	12	12			
	実績					0	0			12	12									
達成度					100%				100%											
分析					法律に定める自主測定回数をすべて測定し、自主基準を含め、超過した件数は0件でした。				毎月、点検をもれなく実施しました。											
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	受け入れた焼却ごみを適正に処理する。				インプット (活動)	市域内で発生する焼却ごみ(家庭系一般ごみ及び事業系一般廃棄物)を受け入れ、焼却する。								
	指標説明					アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定②	指標説明					アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	指標種類					単位					単位					単位				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
	目標(見込み)					100	100	100	100	56,400	55,800	55,200	54,600							
	実績					100	100			60,496	60,940									
達成度					100%				91%											
分析					適正にごみ処理を実施できました。				多少目標を超過していますが、適切に処理が行えており、支障はありません。											

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③						市域内の粗大ごみを適正に処理する。				市域内の粗大ごみを受入れ、破碎・選別する。			
指標設定③	指標説明					受け入れ粗大ごみを適正に処理できた割合 【算出式: 処理量/搬入量×100】				粗大ごみ処理量			
	指標種類	単位				単位 %				単位 トン			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	7,219.40	7,142.87	7,067.15	6,992.24
	実績					100	100			8,514	7,702		
	達成度					100%				92%			
分析					適正にごみ処理を実施できました。				多少目標を超過していますが、適切に処理が行えており、支障はありません。				
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						余剰電力について、売却し、収入を得ることができる。				余熱利用として、発電能力4,500kWhの蒸気タービン発電機により発電を行う。			
指標設定④	指標説明					年間売電額				年間発電量			
	指標種類	単位				単位 円				単位 kWh			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					202,591,000	187,376,000	170,560,000	170,560,000	16,368,594	13,384,000	13,120,000	13,120,000
	実績					191,648,783	184,256,477			13,796,448	14,701,799		
	達成度					98%				110%			
分析					売電電力量は増加したが、入札価格が低下したため、売電額としてはほぼ目標値付近となっている。				想定以上の売電が出来ている。				
ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						不燃残渣が適正に処理できている。				各種焼却活動等により発生する、不燃残渣を回収できるよう、施設の維持管理に努める。			
指標設定⑤	指標説明					不燃残渣の適正処理率 【算出式: 処分量/不燃残渣の排出量*100】				設備の不具合発生件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					ほぼ100	100	100	100	0	0	0	0
	実績					100	100			0	0		
	達成度					100%				100%			
分析					1,521tの不燃残渣を適正に処理しました。				施設の稼働に支障のある不具合は発生していません。				

ロジックモデル⑥	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	山元還元により、溶融飛灰の資源化を行う。				インプット (活動)	溶融設備を適正に管理して、焼却灰を溶融する。			
	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	山元還元により、溶融飛灰の資源化ができた割合 【算出式: 山元還元量 / 溶融飛灰発生量 × 100】				インプット (活動)	溶融炉稼働日数			
指標設定⑥	指標説明					単位					単位	%			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					100	100	100	—	180	180	180	—		
	実績					100	100			185	188				
	達成度					100%				95%					
分析					534tの溶融飛灰を山元還元を行いました。				多少目標を超過していますが、適切に処理が行えており、支障はありません。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	3.21
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,173	23,284	24,424		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	24,173	23,284	24,424		
	物件費計	744,293	753,819	771,593	722,424	107%
	歳出計	768,466	777,103	796,017		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	23,252	191,966	184,551	198,348	
	歳入計	23,252	191,966	184,551	198,348	
	一般財源	745,214	561,853	587,042	524,076	

5. 総括的分析

総括的分析 適切なごみ処理を継続しており、すべての基準を満足している。売電額については、売却単価は入札によって決定しているため、令和3年度については、発電量は増加したが、売却額ではわずかに目標を下回った。なお、令和3年度後期にガス代・電気代が予想外の高騰をしたため予算額を上回り、予算執行率は107%になった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適正に設備機械等の維持整備をすることで、設備機械や環境への負荷の低減に向けた運転を目指していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部清掃工場焼却施設長寿命化に係る整備事業										
測定年度	2021(R3)年度		当初	部	環境部			課	東部資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名		25-1.ごみ総量の削減と資源化の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関係補助金名称			サンセット		
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ごみを排出する市民及び事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	東部清掃工場が耐用年数を迎えた際に、新たに清掃工場を建設する必要があり、建設に当たっては多額の費用が発生する			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	既存の焼却施設の延命化を図る				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・灰溶融炉の停止(廃止)工事 ・基幹的設備改良工事 ・延命化工事 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
						各年度の工事を適切に進めることにより、第1期工事全体を適切に進める。				第1期工事(灰溶融炉の停止(廃止)工事、基幹的設備改良工事)を進める。						
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	指標説明				第1期工事全体に係る整備の進捗率 【算出式: 出来高(累計) / 第1期工事の全体事業費(合計) × 100】				当該年度における第1期工事による整備の進捗率 【算出式: 当該年度における出来高 / 第1期工事の当該年度における全体事業費 × 100】							
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)								—	2	41	62	100	100	100	100
	実績								—	2			100	100		
達成度				100%				100%								
分析				令和3年度制作分の部品の検査、納品を受けた。令和3年度出来高5,903,000円/全体事業費3,795,000,000円				令和3年度出来高5,903千円/令和3年度の事業費5,903千円								

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,434	7,047	9,296		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,434	7,047	9,296		
	物件費計	8,580	3,003	5,903	5,904	100%
	歳出計	16,014	10,050	15,199		
歳入	国庫支出金	0	0	1,968	1,968	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	228,800	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	228,800	1,968	1,968	
	一般財源	16,014	▲ 225,797	3,935	3,936	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は、基幹的設備改良工事(工期 令和3年度から令和7年度の5年間)の発注を行い、予定どおり、令和3年度制作分の部品の検査、納品を受け、相当する循環型社会形成交付金の交付を受けた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	第1期工事として令和3年度から令和7年度までの基幹的設備改良事業として灰溶融炉の停止(廃止)工事、その他設備機器改良工事及び循環型社会形成推進交付金の申請等、適宜、進めて行く。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部資源循環センター運営事務																
測定年度	2021(R3)年度			当初	部	環境部			課	東部資源循環センター							
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4									
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外														
	施策目標		99.施策体系外														
	実行計画名																
1. 事務事業の概要																	
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務					
事業期間	R4年度(2022年度)			年度	~							年度まで					
根拠法令等																	
関係補助金名称							サンセット										
関係附属機関名称																	
事業対象	メインターゲット		東部資源循環センターの職員														
	サブターゲット																
	ターゲットが抱える課題		東部資源循環センターの運営を円滑に図る														
	ターゲットが抱える課題																
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われる																
事業概要	東部資源循環センターの運営業務																
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
指標設定	指標説明																
			単位		単位		単位		単位								
	指標種類																
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)															
	実績																
達成度																	
分析																	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.55
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	19,105		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	19,105		
	物件費計	—	—	2,446	2,610	103%
	歳出計	—	—	21,551		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	2,446	2,610	

5. 総括的分析

総括的分析	工場内で使用している特殊車両に使用している車両管理費(車両燃料代)については令和3年度の燃料価格上昇により、使用歴が21年を超える車両を含む公用車の修繕費については予定外の修繕により、それぞれ当初予算を上回り、予算執行率が103%となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	課内の事務を適正かつ迅速に処理し、事務の円滑な執行を行う。